

「現地を訪問して想うこと」

藤崎 聡 (1965・法)

岩手県コース参加

「百聞は一見に如かず」このことわざは、今回の東北応援ツアーに参加した私のために用意された言葉ではなかったかと思うほどに、この旅は衝撃的でありました。

ツアーに参加するまでの私は、テレビや新聞で報道されたものを通じ、大変な災害だったんだなあ、被災された方はひどい目に遭われたんだなあと、同情と悲しみの心を他人事のように、上から目線でみていました。

しかし、今回のツアーに参加してその心はどこかに吹き飛んでしまいました。

陸前高田市のホテルから見た跡形も無くなった街や、無残なアパートの惨状をはじめ、7万本の松の内、たった1本残った枯れた松の再建、三陸鉄道南リアス線での何か所かの説明や光景は、頭で理解していたものを根底から瓦解させられるものでした。

今、改めて、この悲しみを同じ目線で心から共に分かち合う気持が大事であり、このことを私の中で風化させないことが、今回のツアーに参加した一番の意義ではなかったかと強く感じ、思っています。

又、これからの人生にも生かしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。